TOSTEM トステム株式会社

# サーマルⅡシャッターサッシ イタリヤS（外付型）〔連窓〕　取付け説明書

## ■施工される方へのお願い

●取付け前に必ず本説明書をお読みください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

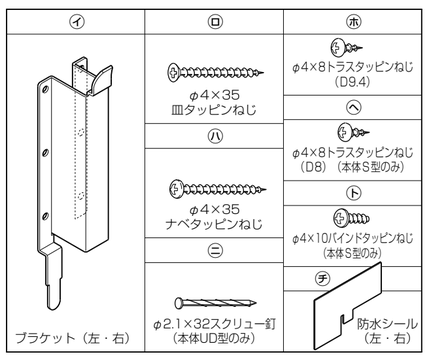
### ⚠注　意

●本体の脱落や、変形による漏水・作動不良の防止のため、下記項目を厳守してください。
・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
・本体は必ず外壁仕上げ前に、直接躯体に取り付けてください。
・必ず指定のねじで取り付けてください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
・ブラケット取付け面が平らであることを確認してください。
・ブラケット・連窓用ブラケットは、ガタのないよう固定してください。
・本体が確実にブラケット及び連窓用ブラケットに掛かっていることを確認してください。
・樹脂カバーが奥まで差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。
・吊り束には最大60kgの荷重がかかりますので、120×90mm以上の木材を使用してください。又、吊り束補強板で吊り束を補強してください。
・本製品取付け後、本体と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。（右図参照）
●漏水防止のため、下記項目を厳守してください。
・本体取付け前に、サッシ枠のまわりに防水テープが張ってあることを確認してください。
・ブラケット取付け前に、上枠と縦枠の接合部に防水シール（本体同梱）を張ってください。
●組立て・施工時及びスラットの横ずれを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとけがをするおそれがあります。

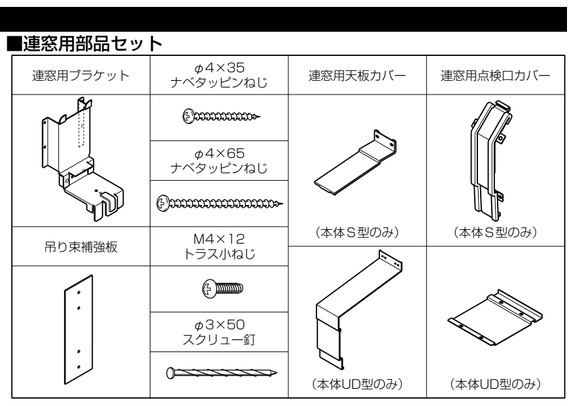
## ■施工上のお願い

●本説明書は本体S型で説明していますが、UD型も同じ要領で取り付けてください。
●取付け前にサッシ枠の水平・垂直および下枠上下の反りがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良や取付け不可の原因になりますので、かいもの等で調整してください。
●本体取付けフィンは、天板のへこみがないよう水糸等で確認して固定してください。シャッター作動不良の原因になります。
●本製品を軒天内部に納める場合は、必ず点検口・ガイドレールが外部から外せる構造にしてください。メンテナンスができなくなります。
●壁仕上げの際、点検口・ガイドレールを塗り込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルを付着させないよう指導してください。
●モルタル剥離剤はアルミ表面を傷めるため、使用しないよう指導してください。
●サッシ部の組立て・取付けについては「サッシ枠/組立て・取付け説明書」をご覧ください。

## ■取付け部品・ねじ一覧表

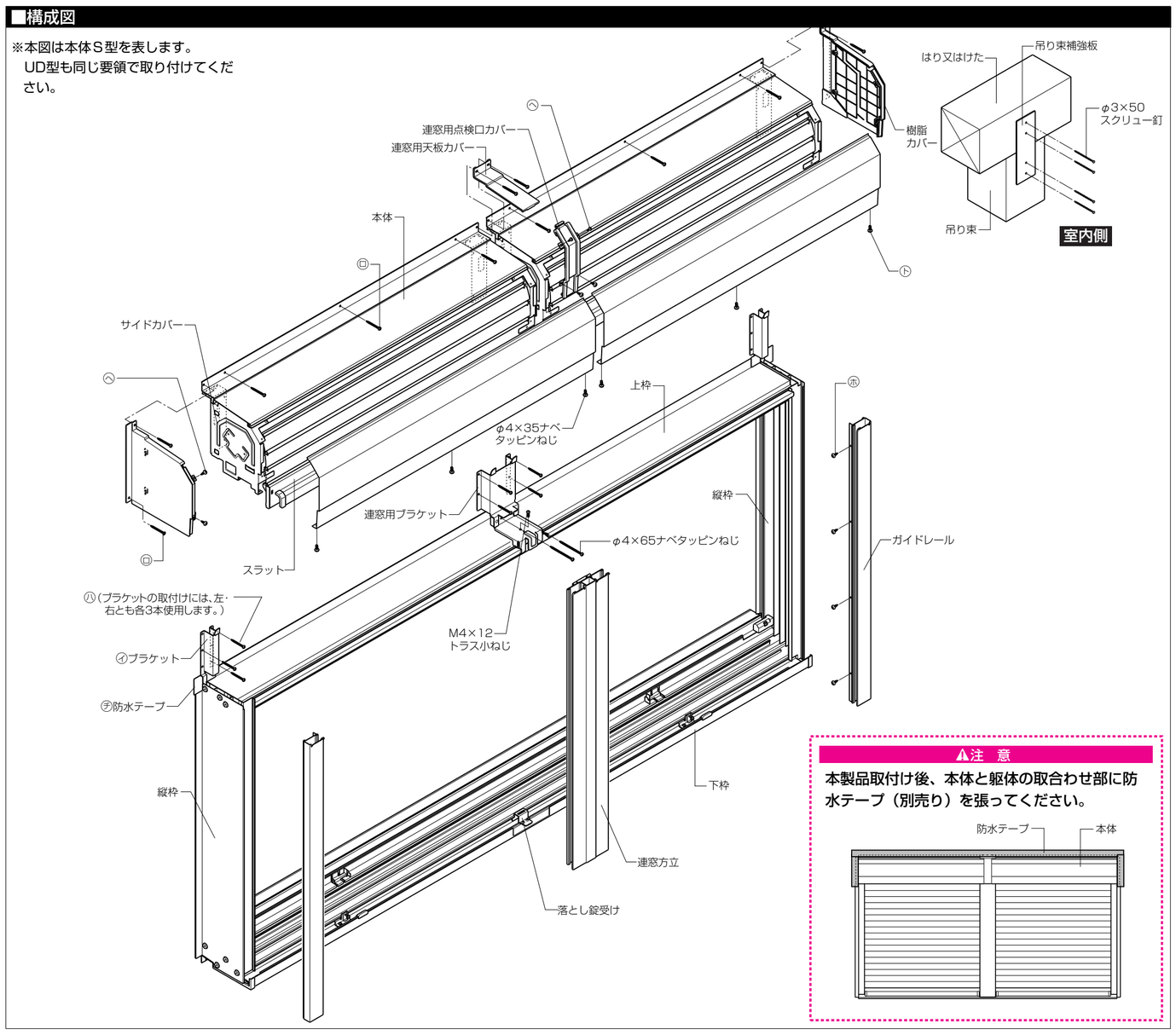



## ■連窓用部品セット




## ■構成図

※本図は本体S型を表します。
UD型も同じ要領で取り付けてください。




### ⚠注　意

本製品取付け後、本体と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



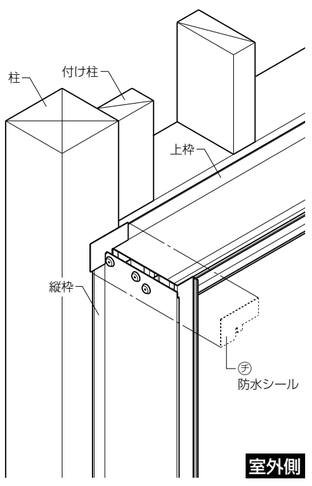

## ■取付け順序

### 1 ブラケット・連窓用ブラケットの取付け

①付け柱が取り付けてあることを確認します。
※付け柱は必ず取り付けてください。詳細は「サッシ枠/組立て・取付け説明書」をご覧ください。

### ⚠注　意

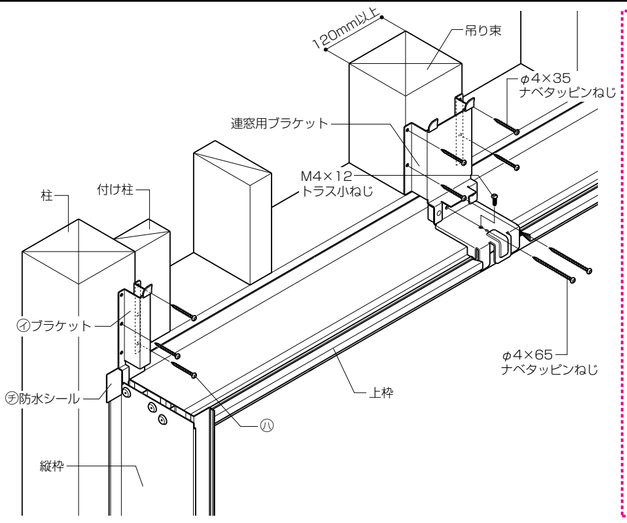
●ブラケット取付け前に、上枠と縦枠の接合部に防水シール（本体同梱）を張ってください。




②連窓用ブラケットを上枠のねじ穴位置にあわせてねじ止めします。
③ブラケットを縦枠にのせて垂直にし、柱・付け柱にねじ3本（ちどり）で固定します。
※ブラケットは右用・左用があります。
④連窓用ブラケットをねじ6本で固定します。
※ブラケット・連窓用ブラケットは必ず垂直に取り付けてください。シャッター作動不良や取付け不可の原因になります。

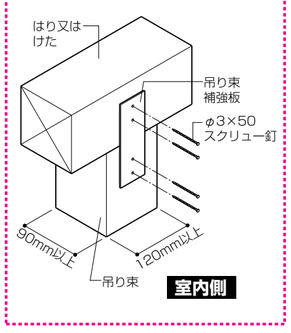
### ⚠注　意

●ブラケット・連窓用ブラケットは、ガタのないよう固定してください。
●ブラケット取付け面が平らであることを確認してください。



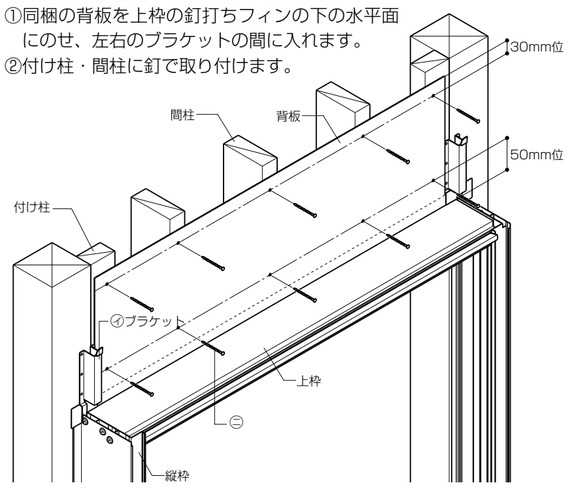

### ⚠注　意

●吊り束には最大60kgの荷量がかかりますので、120×90mm以上の木材を使用してください。又、吊り束補強板で吊り束を補強してください。




### 2 背板の取付け（UD型の場合）

①同梱の背板を上枠の釘打ちフィンの下の水平面にのせ、左右のブラケットの間に入れます。
②付け柱・間柱に釘で取り付けます。




### 3 本体の取付け

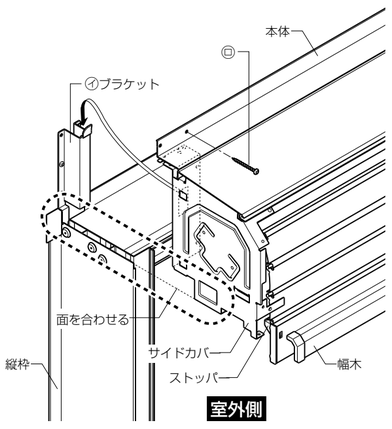
※本体を立てたり、斜めにしたりしないでください。スラットが片寄り、作動不良の原因になります。
①本体をブラケット・連窓用ブラケットに引っ掛け、同時に縦枠の上にのせます。
※ストッパー（幅木）が上枠の下に垂れるようにしてください。
※S型の場合は、防水パッキンが張り付けてある側を連窓方立側にしてください。
※H寸法が違っていてもW寸法が同じ場合本体が取り付けられるため、必ずサイズの確認をしてください。

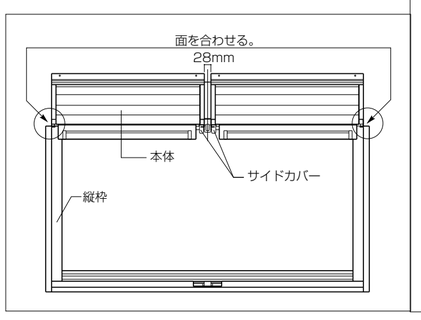
### ⚠注　意

●組立て・施工時及びスラットの横ずれを直す場合は、手袋をしてください。
●本体が確実にブラケット及び連窓用ブラケットに掛かっていることを確認してください。
●樹脂カバーが奥まで差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。

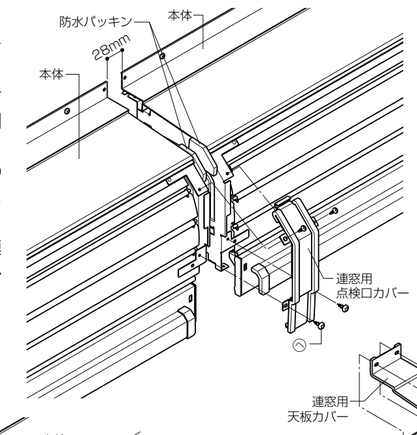
②縦枠と本体左右の面を合わせ、連窓部のサイドカバーの間隔が28mmであることを確認し仮止めします。

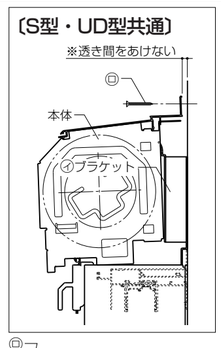
〔S型・UD型共通〕

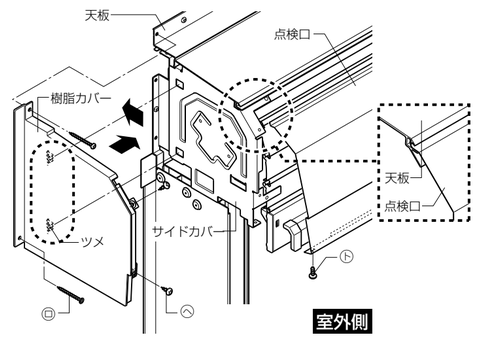


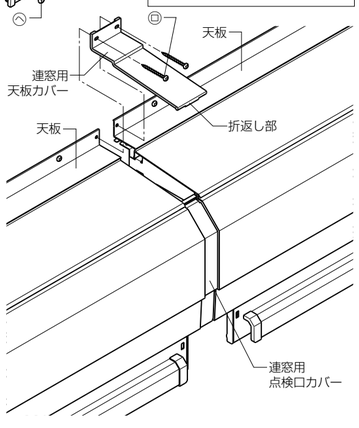




〔S型〕
③連窓用点検口カバーで左右本体を連結します。
④樹脂カバー裏面のツメをすべてサイドカバーの穴に合わせ、躯体側へスライドさせてねじ止めします。
⑤点検口の立上がりフィンを天板の溝に差し込み、回転させるように取り付けて、ねじ止めします。
⑥連窓用天板カバーの折返し部を連窓用点検口カバーの上端にひっ掛け、天板と躯体にねじ止めします。
⑦仮止めしてある本体を、ブラケットとの間に透き間ができないよう固定します。

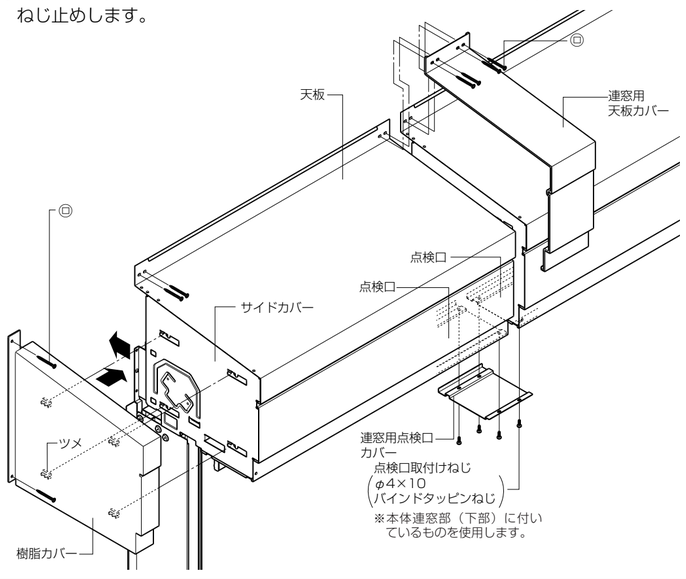



〔UD型〕
③本体連窓部(下部)に付いている点検口取付けねじをいったん外し、連窓用点検口カバーをはめてねじ止めし直します。
④連窓用天板カバーをかぶせ、天板と躯体にねじ止めします。
⑤仮止めしてある本体を、ブラケットとの間に透き間ができないよう固定します。
※本体取付けフィンは、天板のへこみがないよう水糸等で確認して固定してください。
⑥樹脂カバー裏面のツメをすべてサイドカバーの穴に合わせ、躯体側へスライドさせてねじ止めします。



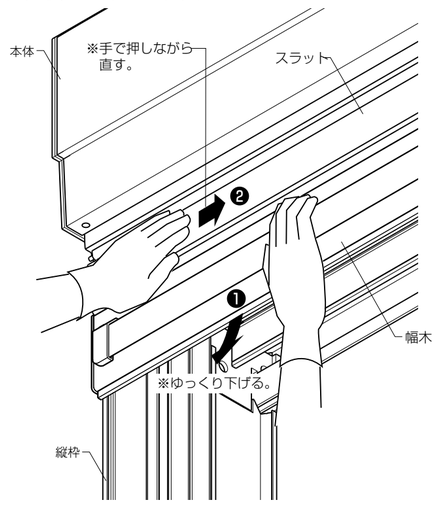

### 4 スラットの横ずれ調整

①幅木の中央を持ち、開口の1/3程度までスラットをゆっくり下げます。
※横ずれがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

### ⚠注　意

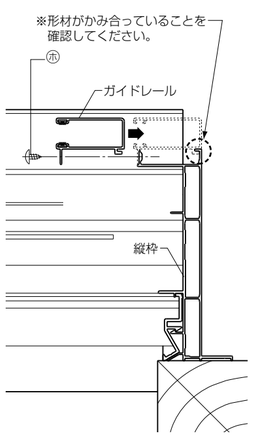
●スラットの横ずれを直す場合は、手袋をしてください。

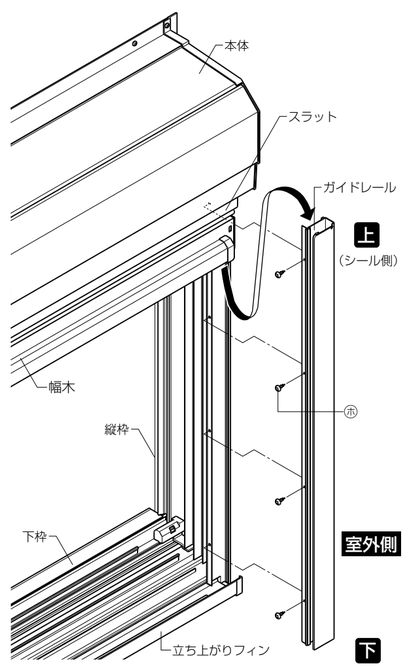
※縦枠・本体にスラットが引っかからないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻き込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。



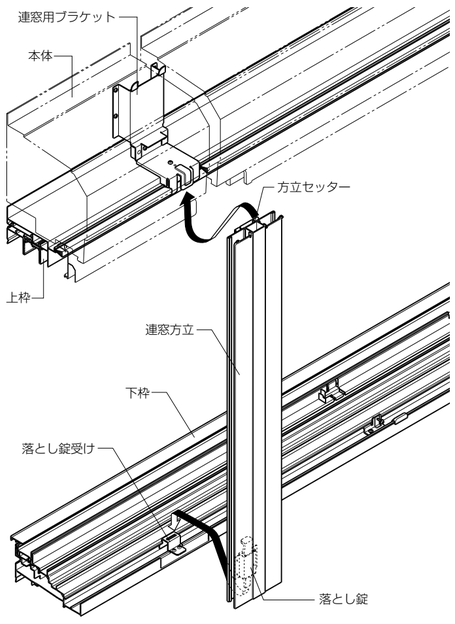

### 5 ガイドレールの取付け

①幅木を引き下げ、ガイドレール上端（シール側）に幅木を引き込みます。
②そのままガイドレール上端を本体内へ差し込み、下端を下枠立ち上がりフィンより内側へ入れます。
※ストッパー（幅木）が上枠の下にくるようにガイドレールをセットしてください。
③ガイドレールをスライドさせて縦枠にはめ込み、ねじで固定します。
※補強ガイドレールを使用するとスラットが入りません。本体とガイドレールの注意シールを確認して取り付けてください。



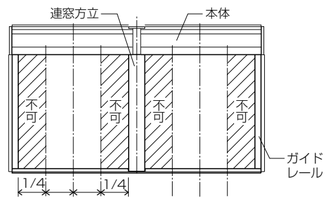



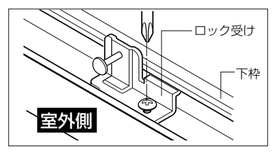
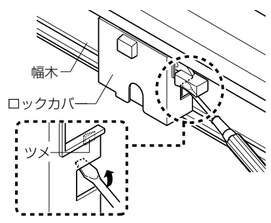
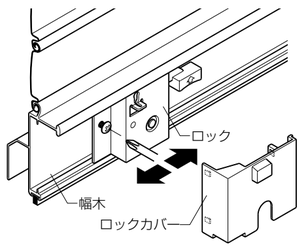

④幅木を引き下げ連窓方立の上端に左右の幅木を引き込みます。そのまま連窓方立を押し上げ、連窓用ブラケットに方立セッターを差し込みます。次に連窓方立の下部を下枠の落とし錠受けにしっかり押し付け、落とし錠で固定します。
⑤開閉作動を確認します。引っ掛かり等の支障がある場合は、左記「4 スラットの横ずれ調整」を再度行ってください。




### 6 ロックの確認

※使い勝手等のためにロックの位置を変更する場合は、以下の手順で調整してください。
※左右それぞれの開口の1/4の距離よりもガイドレール及び連窓方立寄りにロックを移動させないでください。幅木の端をもって開閉することにつながり、作動不良の原因になります。




①下枠に付いているロック受けのねじを緩め、任意の位置へスライドさせて締め直します。
②ロック受けのねじのあとが下枠に付いているので、補修ペイント(別途手配)で補修します。
③幅木に付いているロックカバーのツメをマイナスドライバー等で取り外します。
④ロックを固定しているねじを緩め、ロックをスライドさせて動かします。
⑤幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠のロック受けの位置に合わせて仮止めします。
⑥数回ロックの施・解錠をくり返し、作動を確認します。
⑦ロックのねじを締め付け、ロックカバーを正面から押し込みます。